

第29回 地域福祉まつり開催



令和5年10月28日(土)「地域福祉まつり」を開催し、幼児から高齢者まで延べ1,000人を越える多くの方々にご参加いただきました。ワークアイ船橋のご協力による点字教室や介助犬のデモンストレーション等の福祉の学び、可愛い手作り品の制作、葛飾中学校管弦楽部の演奏、ビンゴゲームなど皆様楽しんでいただき、大盛況で終わることができました。



～ボランティア育成事業～

令和6年2月9日(金) 昨年に引き続き料理研究家の金子光夫先生にお越しいただき、地元船橋産の食材を使った料理講座を開催いたしました。



いちご狩り体験

～ボランティア交流事業(バス旅行)～

令和6年2月26日(月) 4年ぶりにボランティア交流事業(九十九里方面へのバス旅行)を開催いたしました。多くのボランティアの皆様にご参加いただき、いちご狩りを体験するとともに、各事業の情報交換を行うなど楽しい一日を過ごしました。



福祉体験の感想 ☆小栗原小学校4年生の皆さん☆

令和6年2月5日(月)小栗原小学校4年生の皆さんが保護者の方や地区社会福祉協議会のボランティアの皆様のご協力のもと、車いすの正しい使い方や段差のある道での動かし方、また、高齢者疑似体験セットを使い、目や身体の不自由な方の気持ちや日常生活を理解するための体験を行いました。

福祉体験をして

四年 一組 (さかき原ゆうづ) ー

ぼくは、学校で福祉体験をしました。た。ぼくは、三つの体験をした中で、最もおもしろい体験は、絵のしおりの、高い者体験です。おもしろいこと、は、まずおもりがつかっていてあるきづうかたこと、目が見えにくいこと、音が聞こえないことでした。ぼくは、この福祉体験をしてとても楽しかったです。学校の授業の中でとてもおもしろかったし、高れい者やいろいろなことがあつた人の気持ちがわかりました。

福祉体験をして

四年 二組 (とみもとあみ) ー

目が見えない方の体験をしました。アイマスクをつけた時は、白杖があつても少し怖かったです。ガイドをしてもらえる子がいるだけで安心して歩けました。階段では、ゆくり安全に進むので、少し時間がかかります。なので、駅などで障がいのある方などを見つけたら、やさしく声をかける、やさしく見守ってあげるなど、心づかいが大切です。これからも一人一人の助け合いを大事に生きていきます。

福祉体験をして

四年 三組 (小高ほのか) ー

わたしは高れい者体験をして、特に車いすで気を付けることが多くて大変だなと思いましたが、なせならブレーキをかける時に手をはなしちゃいけない、車いすをおすスピードも考えないとあぶないことが分かったからです。わたしは高れい者体験をして、こまごましている人を見かけたからお手つたいしようかななどの声をかけたいなと思えました。

福祉体験をして

四年 四組 (島村みず希) ー

私は、福祉体験をして、高れい者になると、目が見えにくくなり、音も聞こえなくなることが知って、とても大変なんだなと思いました。目が見えなくなると階段を上がったり下りたりするのは、とてもこわかったです。車いすもたんざがある時、前におおきな杖をドキドキしました。もし目の見えにくい人などを見かけたら、自分でできることを考え、手つたいをして人のせくにしたいなと思っています。

小栗原小学校4年生の保護者の皆様、ボランティアの方々ご協力ありがとうございました。